

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第1区分
 【発行日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【公表番号】特表2002-518170(P2002-518170A)

【公表日】平成14年6月25日(2002.6.25)

【出願番号】特願2000-555693(P2000-555693)

【国際特許分類】

B 01 F	17/00	(2006.01)
A 61 K	8/06	(2006.01)
A 61 K	8/30	(2006.01)
A 61 K	8/00	(2006.01)
A 61 Q	19/00	(2006.01)

【F I】

B 01 F	17/00	
A 61 K	7/00	N
A 61 K	7/00	C
A 61 K	7/48	

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月14日(2006.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

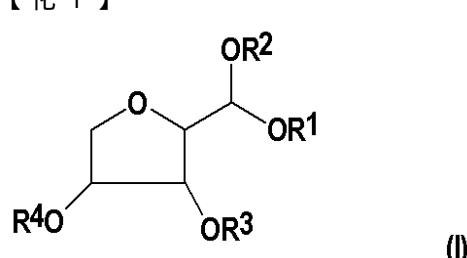
【特許請求の範囲】

【請求項1】(a) ポリオールポリ-12-ヒドロキシステアレート、
 (b) ソルビタンエステル、オリゴグリセロールエステルおよび部分グリセリドから成る群から選択するポリオールエステル、
 (c) クエン酸エステル、
 (d) ワックス、および
 (e) 金属石鹼
 含有するw/oエマルジョン基剤。

【請求項2】成分(a)として、ポリグリセロールポリ-12-ヒドロキシステアレートを含有する請求項1に記載の剤。

【請求項3】成分(b)として、式(I):

【化1】



[式中、R¹、R²、R³およびR⁴はそれぞれ、水素、または炭素数6～22の飽和および/または不飽和の直鎖または分枝状アシル基であり、置換基R¹～R⁴の少なくとも1個はアシル基である。]

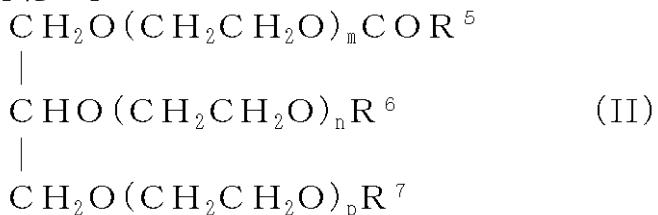
で示されるソルビタンエステルを含有する請求項1または2に記載の剤。

【請求項4】成分(b)として、C₆～₂₂脂肪酸のオリゴグリセロールエステル

を含有する請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の剤。

【請求項 5】 成分 (b) として、式 (II) :

【化 2】

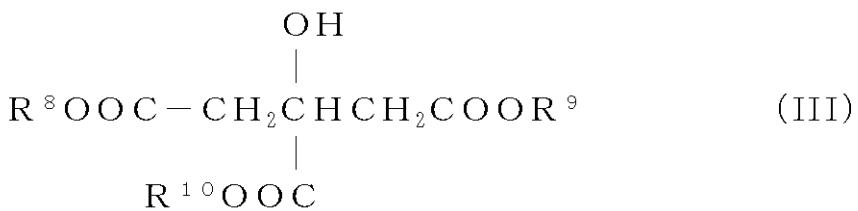


[式中、 R^5CO は、炭素数 6 ~ 22 の、直鎖または分枝状、飽和および / または不飽和アシル基であり、 R^6 および R^7 はそれぞれ、 R^5CO と同意義であるか、または OH であり、 ($m + n + p$) の総数は 0 、または 1 ~ 100 であり、 2 個の置換基 R^6 および R^7 の少なくとも一方は OH である。]

で示される部分グリセリドを含有する請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の剤。

【請求項 6】 成分 (c) として、式 (III) :

【化 3】



[式中、 R^8 、 R^9 および R^{10} は水素、または直鎖または分枝状アルキルおよび / またはアルケニル基、および / または炭素数 2 ~ 12 / ヒドロキシリル基数 2 ~ 12 のポリオールの残基であり、置換基 R^8 ~ R^{10} の少なくとも 1 個は水素でない。]

で示されるクエン酸エステルを含有する請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の剤。

【請求項 7】 成分 (d) として、蜜蠍、ラノリンおよび / またはモンタン蠍を含有する請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の剤。

【請求項 8】 (a) ポリオールポリ - 12 - ヒドロキシステアレート 5 ~ 95 重量 % 、

(b) ソルビタンエステル、オリゴグリセロールエステルおよび / または部分グリセリド 2 ~ 35 重量 % 、

(c) クエン酸エステル 1 ~ 40 重量 % 、

(d) ワックス 1 ~ 25 重量 % 、および

(e) 金属石鹼 0.5 ~ 25 重量 % 、

を、場合により水並びに他の助剤および添加剤と共に、全量 100 重量 % となるように含有する請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の剤。